



玉工通信

〒 311-3501 茨城県行方市芹沢1552
TEL 0299-55-0138 FAX 0299-55-3454
<http://www.tamatsukuri-th.ibk.ed.jp>

第8号



たまこう行事予定

9月 6(金)基礎学力診断テスト(1・2年) 10月 3(木)創立記念日
9月13(金)生徒会役員選挙 10月 6(日)～3泊4日
9月27(金)AM授業・終業式 2年修学旅行(沖縄)
9月29(日)～30(月)学期末休業日
10月 1(火)始業式

全国大会優勝 (金賞／厚生大臣賞)

技能五輪ユース大会とも呼ばれる、第19回若年者ものづくり競技全国大会(電気工事職種)において、3年電気科 長峯璃久 が全国優勝しました。

期日:令和6年7月31日～8月1日

会場:群馬県Gメッセ

種目:電気工事職種

競技職種:15職種

メカトロニクス、機械製図(CAD)、旋盤、フライス盤、電子回路組立て、電気工事、木材加工、建築大工、自動車整備、ITネットワークシステム管理、ウェブデザイン、業務用ITソフトウェア・ソリューションズ、グラフィックデザイン、ロボットソフト組込み、造園

若年者ものづくり競技大会は、職業能力開発施設、工業高等学校等において技能を習得中の若年者(原則20歳以下)であり、企業等に就業していない者を対象に、技能競技を通じ、これら若者に目標を付与し、技能を向上させることにより就業促進を図り、併せて若年技能者の裾野の拡大を図ることを目的として実施する大会です。

(中央職業能力開発協会HPより抜粋)

茨城大会優勝

高校生ものづくりコンテスト

茨城県大会

期日:令和6年8月3日(土)

会場:関電工人材育成センター
(牛久市)

優勝 電気科3年 長峯 璃久

準優勝 電気科2年 故 鵬



関東大会優勝

高校生ものづくりコンテスト関東大会

(神奈川県大会)

期日:令和6年8月24日(土)

会場:神奈川県産業技術短期大学校
(西キャンパス)

優勝 電気科3年 長峯 璃久

(令和6年度全国大会出場)

準優勝 電気科2年 故 鵬

(令和7年度第20回

若年者ものづくりコンテスト

香川県大会出場予定)



高校生ものづくりコンテスト全国大会は11月9日・10日、
会場は宮城県多賀城市で行われます。



9月2日(開講式) 校長挨拶

生徒の皆さん、おはようございます。
本日は台風の影響も心配されましたが、無事に夏休みを終え、学校が始まりました。
生徒のみなさん、今年の夏休みはいかがでしたか？

3年生は進路のことで会社見学に行ったり、履歴書を書いたり、面接練習をするなど、何日も登校して忙しかった人が多かったと思います。また、1、2年生では資格取得や部活動などで学校に何日も来た人が多数いたと思います。
過ごし方はそれぞれでも、充実した夏休みだったことと思います。

さて、本日は最近よく使われている2つの言葉について、少し話をしたいと思います。

一つ目の言葉ですが、先日、朝日新聞にこのような記事が掲載されていたのでご紹介します。20歳の女子大生が投稿したもので、「大丈夫です」ってどんな意味？という題です。

私はよく「大丈夫です」という言葉を使う。相手にきつい印象を与えないためだ。お店で、「袋は入りますか」と聞かれて「大丈夫です」と答えれば、多くの店員さんは「いいらないです」の意味でとってくれる。しかし近くのスーパーで、いつもの通り「大丈夫です」と笑顔で返したら、袋を付けられてしまった。慌てて「ごめんなさい、袋いいらないです」と言ってことは済んだが、店員さんは逆の意味にとったようだ。確かに考えてみれば「大丈夫」とは何が大丈夫なのかわからない。話し手の意図が必ずしも、受け手に伝わるとは限らないのだと実感した。気遣いのつもりで使った言葉が逆に余計な手間をかけさせてしまうとは考えもしなかった。それ以来、「いる」「いいらない」などとはっきり答えるようにしている。

もう一つは、最近みなさんがよく使う言葉で、「やばい」とか「やばっ」という言葉があると思います。どんなときにもこの言葉を使っている人は多いのではないのでしょうか。現在は確かにいろいろな場面で使えて便利な言葉と言えるかもしれません。例えば「いやー、今度の試合の相手かなり強いから、やばいよね！」これは試合に勝てそうにない状態、まずい状態を表しています。また、「このラーメン、やばっ！さすがに行列出来るだけのことはあるね」これはラーメンがおいしすぎて、驚いている、感動している様子を表していますね。ほかに、「先輩、その作戦やばいです」なんて使い方もあると思います。これは、その作戦の意味がわかりません。あるいはその作戦すごすぎます。もしくは、その作戦では上手くいきません。などどのような答えかわからないこともあります。
本来の「やばい」の使い方は状況が悪く、危険な状態にあるときに使われていたものです。

今お話した「大丈夫です」も「やばい」という2つの言葉も現在はよいという意味、悪いという意味、さらにそれ以外の意味で使われることもあり、その意味があいまいとなっていることも多いと思います。

そのため、これらの言葉を使うにあたっては、少し注意しなければならないことがあると思いますので、お伝えしたいと思います。

「大丈夫です」も「やばい」も、話の前後の内容やその場の雰囲気によってどのような意味か、おおむね理解できると思いますが、時には意味を誤解される事もあります。特にSNSなど、その場の雰囲気がわかりにくい状況においては誤解を生んで、大きな問題になる可能性もありますので、十分に注意してください。

また、就職試験や礼儀を必要とする場面などでは、このような言葉ではなく明確な言葉で話すことが必要となります。

「大丈夫です」や「やばい」は仲のよい友人とのコミュニケーションとして利用することはよいと思いますが、それとは別に明確な言葉で話せるよう語彙力を身につけておくことも重要です。社会に出れば、自分の親位の年齢の人と接することもあります。そのようなときに、気持ちよくコミュニケーションをとっていくためにも、明確な言葉が使えるように普段の生活で取り組んでもらえることを期待します。

